

平成 29 年度 大井川用水を学ぶ視察会（実績報告書）

実施日 平成 30 年 2 月 23 日（金） 参加者 28 名



主催：大井川の清流を守る研究協議会

平成29年度 大井川用水を学ぶ視察会 参加者名簿

開催日：平成30年2月23日(金)

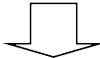
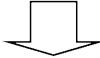
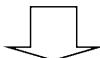
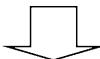
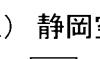
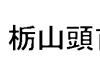
参加者：28名

	氏名	備考
1	石崎 洋光	島田市
2	山本 正巳	掛川市
3	塚本 栄	菊川市
4	諸田 昌太郎	島田市
5	小林 正記	島田市
6	駒形 栄一	島田市
7	山元 照人	川根本町
8	山元 久美子	川根本町
9	鈴木 敏雄	島田市
10	鈴木 陽子	島田市
11	加藤 寿子	島田市
12	村松 正夫	島田市
13	榛葉 きみ子	掛川市
14	松下 友子	掛川市
15	池田 正夫	掛川市
16	池田 三千枝	掛川市
17	高氏 利数	島田市
18	高氏 悅子	島田市
19	横山 嘉春	菊川市
20	喜多野 晋	掛川市

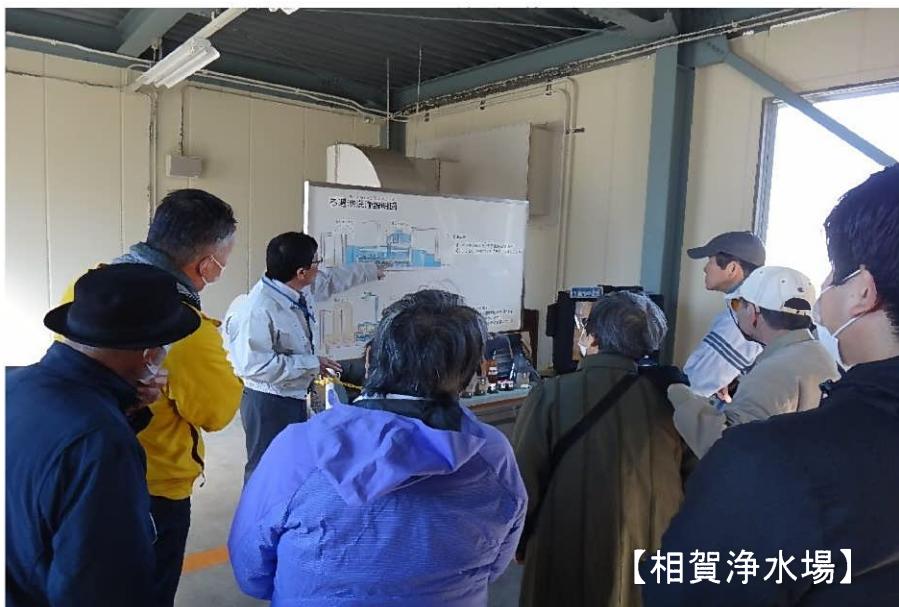
	氏名	備考
21	白石 かず子	島田市
22	樅木 和義	焼津市
23	樅木 ヒロ子	焼津市
24	島 明彦	藤枝市
25	宮村 久雄	吉田町
26	後藤 克宏	菊川市
27	日向 弘子	湯河原町
28	鈴木 妙子	熱海市
講師	小澤 節子	川根本町
事務局	森田 直樹	御前崎市
事務局	長島 誠	川根本町
事務局	太田 英亮	川根本町

平成29年度 大井川用水を学ぶ視察会

日 時 平成30年2月23日(金) 8:50 集合 JR島田駅南口

8:30	島田駅 受付開始 (南口)		8:30～受付
8:50	島田駅南口出発		
9:10	島田市相賀 相賀浄水場		9:10～10:30
10:50	川口発電所・川口取水工		10:45～11:35
11:45	島田市神座 神座分水工		11:50～12:10
12:10	神座～横岡 大井川水路橋		12:10～12:25
12:45	(昼 食) 新金谷駅		12:45～13:25
13:40	島田市神谷城 松島分水工		13:45～14:05
14:10	菊川市富田 菊川頭首工		14:15～14:35
14:55	菊川市中内田 七曲調整池		14:55～15:15
15:45	(トイレ休憩) 静岡空港		15:50～16:10
16:25	島田市 栃山頭首工		駐車スペースがないため、車窓より現況確認
16:40	島田駅南口		

大井川の用水を学ぶ視察会（平成30年2月23日）





【大井川水路橋】
(説明者:農林水産省関東農政局大井川用水農業水利事業所)



【大井川水路橋】



【松島分水工】(説明者:大井川右岸土地改良区)



【松島分水工】





平成 29 年度 大井川用水を学ぶ視察会に関する意見・感想について

○参加者数：28 人（内回答者数：17 人（61%））

1 今回視察をする前から、現状について承知していましたか

- ① 知っていた・・・・・・ 7名
- ② 知らなかった・・・・・・ 9名
- ③ 関心がなかった・・・・・・ 1名

2 大井川の現状を視察してどんなことを思いましたか。

- ・“水は命”と説明を受けたとき、今は何不自由なく使用しているけれど、農業・工業にと利用されていて、東遠地区、島田地区と大活躍していることが分かりました。大井川用水の基を造った「山崎千三郎」さんを知り、説明を受けたのがよく、精神を学びました。（掛川市 男性）
- ・水の大切さを感じました。壮大な計画に感謝しました。リニア新幹線の整備による、大井川の水の 2 トン／秒は絶対にあってはならない。
(菊川氏 男性)
- ・大井川の実情が参加者によく伝わったと思います。大井川流域の発展は、“観光”に掛かっています。流域の市町が名所づくりに協力し、連携すべきと考えています。（島田市 男性）
- ・大井川の水が、電源開発と治水・利水で使われていることはよく分かりました。（島田市 男性）
- ・日々の生活の中で治水について何も考えていない状況。ただ思うことは、夏季の雨が少ないと水道水の節水が気になるところです。現在水を安心して使っているのは、先人のおかげであることに感謝です。（島田市 男性）
- ・右岸の用水路見学は初めてでした。浄水に変化があつて面白く捉えました。先人の苦労の一端がうかがえる貴重なものでした。（島田市 男性）

大井川の水が広大な地域で移用されていることは、少しあは知っていたが、上水、農業用水等の排水状況を教えていただき大変参考になった。このことを下流域に暮らしている人全部に広報して行くことが必要と思われる。

（川根本町）

- ・大井川用水の施設を見学し、知らなかつたことが多かつたことを認識しました。大井川上流地区についても知りたいと思いました。(川根本町)
- ・毎日、何気なしに使用している水が多くの人々の手を借り、先人の知恵、努力、苦労の結晶に他ならないことを学びました。改めて水の重要性、温かさを感じました。今回は、身の回りの水を学びましたが、機械があれば、大井川の源流部を研修してみたいと思います。(島田市 男性)
- ・大井川用水と聞けば農業用に使用する水と今まで思ってきました。この様な機会を得て大井川用水は、管理されている川であり、私たちは安心して利用出来ていることが分かりました。地理的なお話、歴史的なお話もあり、有意義な一日になりました。(掛川市 女性)
- ・自宅で蛇口をひねれば水が出て何不自由なく使っているので、大井川の水だということは知っていましたが、深く考えたことはありませんでした。私たちの口にするまでに、多くの人が係わり、多くの設備を使用して届いているんだと知ることができました。(島田市 女性)
- ・大井川での鮎釣りをとおしてある程度は分かっていましたが、係員の詳細な説明をいただき、水脈等の系図、歴史、水道水、農業用水等、多岐にわたっている様子が理解できた。(菊川市 男性)
- ・先人達の偉業に驚き！感謝し、ありがとうとしか言い様がありません。行政のことは、分かりませんが、これから先を思えば、現省庁を水庁、水省とし、一括してこの先の日本の水の在り方に取り組み、全国民のためのみにお金を使うようにしていただきたい。(掛川市 男性)
- ・大井川の水は、利用し尽くされた感じがしました。清流は、幻かという感じです。河原砂漠といった人がいましたが、それを実感しました。一時より少しは、良くなっているとのことらしいですが、しゃぶりつくされた川だなあと思いました。東電が、大井川の川の水を取水し、富士川の方へ持って行っているとは知りませんでした。(藤枝市 男性)
- ・大井川について知っているつもりでいましたが、菊川の水は大半が大井川の水であることや頭首工、分水工の違いなど、新たに学ぶことが多く、参加してよかったです。(御前崎市 男性)

3 課題があるとすれば、これから行政・流域住民はどんなことをやっていたら良いと考えますか。(考え方なども含めて具体的に記入ください)

- ・現在は、自然環境、流域住民の方が優先されるべきで、将来を思えば、役に立っていることばかりでは不安を覚えます。(掛川市 男性)

- ・人口減で将来水は、今よりもいらなくなると思う。その分を大井川に戻してほしい。(菊川氏 男性)
- ・市民に PR、学習させることはこれからも重要だが、その先をどうするかが大事。(島田市 男性)
- ・貴重な用水・地下水をどう活用して地域の発展を目指すか。これを考える必要がある。(島田市 男性)
- ・リニア新幹線用トンネルの件で、大井川の水量減少が問題となっているが、用水を活用している地域すべての自治体市民は、関心を持つような PR が不足しているのでは? 用水のありがたみを市民に PR されたい。
(島田市 男性)
- ・右岸の伊達方発電所を OPEN 初日に見学しました。知事が出席して、これからこの様な発電所を造っていくことの表明がありました。県をバックに、地元の協力でやれます。原子力でなく水力でやれます。関係者でやっていきましょう。(島田市 男性)
- ・栃山頭首工の見学は 3 度目ですが、左岸の大井川用水の管理は万全です。
(島田市 男性)
- ・水の大切さを訴えると共に、掛かっているコストを知らせ、節水と設備更新の費用負担を理解していただくような広報を行うことなど、南アルプス流域の環境保全が水源の確保や美味しい水の供給に必要なことを知らせる。
(川根本町)
- ・地域環境の変化は日々進んでいます。長期的な計画と共に、短期的な見直しや改善を考えていく必要があると思います。(川根本町)
- ・農業用水も飲料水同様に必要欠くべからずですが、農業の現在を見るとき、高齢化が進行し、後継者不足が問題。水は充分満たされても農業をやる人がいなければ、水も利用されなく無駄になります。農業政策を考えることが重要だと思います。(島田市 男性)
- ・もっと多くの人が、これを知って水に対する価値を再認識する必要があると思います。(島田市 女性)
- ・あれは何省、あれは県など、どこの予算で行った事業的な考え方を捨てる。私たち一人一人が個の考えをやめ、毎日の生活の中で、全体として少しでも良くなる考えをする。己の利害を捨て全体の利益につながるように発言し、行動する。私利私欲を無くす。(掛川市 男性)

- ・川の流水量を増やし、少しでも昔の状態に近づけた方が良いのか、更に効率的な水利用を目指すのか、あるいは、その両方を目指すのか。結論が全く異なる気がします。(藤枝市 男性)
- ・行政は、受益市町の住民に大井川用水の現状等の共有を図るため、隨時、情報発信を行い続ける。(御前崎市 男性)

4 その他

- ・様々な課題があった時に視察会をおして知り、反対するのではなく、よりよき方向に向かっていきたいです。(掛川市 男性)
- ・視察会は、毎年続けてほしい。(菊川市 男性)
- ・川根本町、島田市以外の周辺市町の住民に、大井川の水の恩恵をもっと知つてもらう必要がある。(島田市 男性)
- ・下流域に同じような会が発足しようとしています。連携されたらいかがでしょうか。(島田市 男性)
- ・南アルプス、大井川流域の観光開発を進めるべきではないか。南アルプス深部までのアクセス道路開発。道路開発に伴ってのサイクリングロード、スカイライン等、地域活性化が重要である。東海パルプの私有地の活用を自治体が進めるべきではないか。(島田市 男性)
- ・小電力発電を研究している者です。これだけ豊富な水があれば、小電力発電は発展していくと思います。規制緩和が進めば、再生可能エネルギーの道も拓けていくと思います。(島田市 男性)
- ・今回は勉強になりました。孫達に説明してあげようと考えています。(島田市 男性)
- ・今回、この視察を新聞から知りましたが、記事を見落とすことも多々あるので、市の広報誌にも掲載いただければ、参加者がさらに増すのでは。(菊川市 男性)
- ・東電が使っている水を返してもらい、川に流してはいかがでしょうか。発電機の性能アップによる必要水量の減少分を川に戻してもらい、発電量の増加には使わないなど。(藤枝市 男性)